

学校番号	2002
------	------

令和6年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来 (実教出版)						
副教材等	Life Design 資料+成分表+ICT (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

衣生活、食生活、住生活および子どもの発達と保育、高齢社会、消費生活に関する事項を生活科学として理解するとともに、生活文化と関わらせて考え、充実した生活を営むことができるようにする。

2 学習の到達目標

- ・人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- ・様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。
	上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。		

4 学習の活動

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単 元（題 材）の 評 価 規 準	評 価 方 法		
				知(a)	思(b)	主(c)

※令和4年度以降入学生用

1 学期	第9章 消費行動を考える	1節 消費行動と 意思決定	a:消費行動について、さまざまな情報を収集しながら、自分の消費行動について検証することができる。 b:消費行動における意思決定の過程について、具体的な事例を通して主体的に考え、判断することができる。 c:自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や、消費行動、消費と環境とのかかわりについて積極的に理解しようとする。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 消費生活の 現状と課題	a:消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、また契約についての知識を身につけている。 b:多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考え、判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		3節 消費者の権 利と責任	a:消費者の権利と責任などについて理解できるとともに、現代の消費生活の課題について認識できる。 b:消費者としての自覚を持ち、消費者の権利と責任を考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		4節 ライフスタ イルと環境	a:家庭生活と資源・環境との関係についての知識を身につけている。 b:消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけ、解決の方向性を判断することができる。環境に関するグラフなどから、生活における消費行動の問題点を導き出すことができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	第10章 経済的に自立する	1節 暮らしと経 済	a:家庭経済・国民経済などのしくみについて理解でき、短期・長期的経済計画の重要性を認識できる。 b:現在の経済社会と家計との関係を考えながら、家庭の収入・支出・預金などについて、適切な考えをもち、判断ができる。 c:自分の経済的自立を考えながら、家庭経済・国民経済のしくみや家計の特徴について、積極的に理解しようとし、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		2節 将来のライフプランニング	a:短期・長期の経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を組み立てることができる。 b:将来のライフイベントとその費用を考慮することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
第1章 これからの人生について考えてみよう		1節 自分の未来 予想図を描こう～ 生涯発達と発達課題～	a:自分自身について考えるワークシートや将来についてのレポートなどを通して、自分や、人の一生についての考えをまとめることができる。 b:人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、少子高齢社会、男女共同参画社会などの社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、発表などを通じて考えを表現することができる。 c:現在の自分のこと、将来の生活設計を考慮することについて、意欲を持ってとりくもうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 これからの人生をデザインする	a:自分自身や現在の社会状況を客観的に知り、将来を見通した人生設計への課題を見つけることができる。 b:自分の近い将来についてのキャリアや生活についての設計を考え、ワークなどを用いてそれらを具体的に描いていくことができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		1節 自立と共生	a:青年期の課題である自立や男女の平等と相互の協力などについて理解できる。 c:男女共同参画社会など、現在の社会的状況について、興味を持って知ろうとする態度がある。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		デートDV予防	b.望ましい青年期の男女のかかわり方・付き合い方について、自らの考えをまとめることができる。 c:デートDV予防について関心を持ち、理解をしようとしている。		定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート デートDV 予防授業

※令和4年度以降入学生用

	第2章 自分らしい生き方と家族	2節 ライフキャリア	a:生活にかかわる労働の意義, また, 現在の労働環境などについて理解できる。 現在の生活時間の状況をふまえ, 生活時間と労働との関係について理解できる。 c:労働の意義や役割, 労働時間と生活時間との関わりについて関心をもち, 現在の家族・家庭がかかえる課題を見いだそうとする。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		3節 共に生きる 家族	a: 結婚, 家族・家庭の多様化や, 時代とともに変化する役割について理解できる。 b:図表などから家族の形, 家庭のあり方や役割について, また時代とともに変化した背景について読みとることができ, 現在の家族・家庭のあり方や役割について考えを深め, 表現することができる。 家族・家庭に関する課題・問題点について, 社会的な制度, 労働環境や雇用情勢などの背景も考慮しながら原因を推測し, 解決へ導くための考えをまとめ, 討論やレポートを通して発表することができる。家族の変遷や家族に関する意識の変化, さらには, 現在の家族の抱える問題・課題などについて, 新聞や書籍などから情報を収集し, 自らの考えをまとめることができる。 c:結婚, 家族・家庭の形, 家族・家庭の役割について, 自分とどうかかわっているのか, 興味・関心をもとうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		4節 家族に関する法律	a:家族に関する法律についての知識を身につけている。 c:家族, 家庭生活に関する法律について関心を持ち, 家庭生活と法律との関係について, 理解をしようとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
2学期	第3章 子どもとかわ	1節 子どもとは	c:子どもの世界について, 自分の子どもの頃を思い起こしながら, 興味・関心を持ち, 子どもの生活について, 積極的に子どもとかわりながら, 理解しようとする。生命の尊さについて, 自分の現在, 将来と結びつけながら, 学習しようとする意欲がある。			提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		2節 子どもの発達	a:子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 b:子どもの心身の発達, 現在の子どもを取り巻く状況や子育ての環境について, 課題を見つけ, 解決への考えをまとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		3節 子どもの生活	a:子どもとの接し方, 子どもの衣食住にかかわる物づくりなどの技術を身につけている。 c:子どもの発達の様子や生活に興味・関心をもとうとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		4節 子どもをほぐくむ	a:生命の尊さ, 子育ての意義について理解することができる。 c:子どもをとりまく状況について, 現状を知り, その課題を見つけ, 解決に向けて考えようとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		5節 子どものための社会福祉	a:子どもの発達段階において, 子どもをとりまく人とかかわり, 地域環境・社会環境の重要性, 子どもの福祉について理解できる。 b:子どもの生活やとりまく環境, また, 現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて, 情報を収集し, まとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
第4章 高齢者とかかわる		1節 高齢社会に生きる	a:高齢化社会の現状や課題について情報収集, 調査・研究をし, 課題解決に向けて考えをまとめることができる。 b:高齢社会の課題やその解決にむけて, 新聞記事などを収集し・分析する課程において, 課題の発見, 解決の方向を導き出すことができる。 c:高齢社会の現状, 高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り, 高齢者とかかわろうとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 高齢者を知る	a: 高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 b:高齢社会の現状や高齢者の生活を知ることにより, 高齢者の自立した生活とは何か, 自分の考えをまとめることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	

※令和4年度以降入学生用

	3 節 高齢者の自立を支える	a:認知症の高齢者と接するときに必要な心がけを理解している。介助技術や車椅子の扱い方を理解している。 b:要介護の高齢者と接する上で気をつけるべきことを考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	4 節 高齢社会を支えるしくみ	a:高齢期を支える社会的な制度・しくみについて理解している。高齢者の生活における地域社会の役割, 地域福祉の重要性について理解できる。	定期考査		
第5章 社会とかわる	1 節 支えあって生きる	a:社会福祉の意味, 現在の社会福祉の状況, 社会保障制度のしくみについて理解できる。 b:社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて, 現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 c:生涯を通しての社会福祉・社会保障のしくみや地域での支え合いのしくみについて意欲的に理解しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	2 節 共生社会を生きる	a:ボランティア活動の意義について理解できる。 b:自分たちの暮らす地域の福祉について, 調査などを行い, 自分でできることは何かを導き出すことができる。支え合う社会とは何かを主体的に考え, 社会福祉についての考えをまとめることができる。また, 社会において自分のできることは何かを導き出すことができ, それを支えあいの活動などの実践に生かすことができる。 c:社会の一員としての自覚を持ち, ボランティア活動や支え合う活動への興味・関心を持って, 調査・参加しようとしている。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
第7章 衣生活をつくる	1 節 人と衣服のかわり	c:自分の衣生活をとりまく状況について関心をもち, 衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。			提出プリント 振り返りシート
	2 節 衣服の素材の種類と特徴	a:衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ, 用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 b:衣服の用途によって, 適切な衣服素材を考え, 判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	

※令和4年度以降入学生用

	3節 衣服の選択から管理まで	<p>a:衣服材料の性能と特徴, 衣服整理についての科学的な知識を身につけることによって, 衣服を適切に選択し, 管理することができる。衣類の購入から廃棄まで, 計画的な衣生活を営む知識を身につけている。</p> <p>b:衣服材料・衣服整理についての基礎的な知識を身につけ, 実生活での衣服管理において, 適切な判断ができる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	
	4節 持続可能な衣生活をつくる	<p>a:不要となった衣類について, リサイクルに回す, 作りかえるなど, 実生活において実践することができる。</p> <p>b:現在の衣生活をとりまく状況について, 自分の衣生活を振り返りながら, 課題を導き出すことができる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	
	5節 衣服の構造・デザイン	<p>a:材料の選択, 日常の衣服管理の方法を習得するとともに, 基礎縫いなどの縫製技術を身につけ, 日常着の管理ができる。</p> <p>c:基礎縫いの確認のための実習や, 衣服調査などにおいて, 積極的にとりくもうとする。</p>	定期考査 被服実習		提出プリント 振り返りシート 被服実習
第6章 食生活をつくる	1節 日本の食文化の形成	<p>a:日本の食文化について, 成り立ちや特徴を理解できる。</p> <p>b:自分の地域の郷土料理について, 歴史や料理の作り方を調べてまとめることができる。自分の地域の郷土料理と他の地域の郷土料理を比較し, 違いを自分の言葉で表現できる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	
	2節 私たちの食生活	<p>a:食事の意義や役割, 食生活をとりまく環境などについて, 現代の食生活の課題が理解できる。</p> <p>b:自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し, 課題解決のために思考し, 解決にむけての判断ができる。</p> <p>c:自分自身の食生活について関心をもつとともに, 自分や家族の食生活について意欲的に改善・向上に努めようとする。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		3節 栄養と食品のかかわり	a:栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 c:食品と栄養、調理との関係において、科学的な視点をもって、知識を深めようとしている。	定期考査		提出プリント 振り返りシート
		4節 食品の選び方と安全	a:旬の食材にはなにがあるか、なぜ旬の食材がよいのかを理解している。食中毒の予防法や、食品添加物の特徴をとらえることで、安全な食品について理解している。	定期考査		
3 学期		5節 食事の計画と調理	a:栄養・食品・調理に関する基礎的な知識を生かしながら、献立を作成することができる。調理実習を通して、日常の食事づくりに必要な調理技術を身につけ、献立作成から後かたづけまでの一連の流れを計画し実践できる。 b:栄養の機能と食品のかかわり、また食品の特性と調理との関係において、科学的な思考を身につけ、食品選択、栄養計算や献立作成など、実際の食事づくりにむけての判断ができる。調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくむことができる。 c:調理実習においては、積極的に参加し、とりくもうとしている。	定期考査 調理実習	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習
		6節 これからの食生活を考える	b:現在の日本の食生活における課題について調査などから発見し、解決の方法について、自分の考えをまとめることができる。		定期考査 提出プリント	
第 8 章		1節 人間と住まい	a:住まいの役割・機能について、地域の特性などをふまえて調査・研究ができる。	定期考査		
		2節 住まいの文化	a:日本独特の生活様式と、それに伴う住まいの特徴を理解している。 b:現代のライフスタイルやライフステージに応じた住まいについて考えることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	

※令和4年度以降入学生用

	3節 住まいを計画する	a:住まいの機能・役割, またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 b:ライフステージと住空間の設計の関係, 住環境について考えを深めることができる。 c:住まいの機能, 住空間の計画や住環境について関心をもち, 快適な住まいづくり, よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	定期考査 平面計画実習	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 平面計画実習
	4節 健康に配慮した快適な室内環境	a:日照・日射・採光・照明, 通気・換気, 冷暖房など, 健康的な住まい環境における基本的な知識が理解できる。また, 住まいの清掃やメンテナンスについても理解し, 快適な生活につなげることができる。 b:住まいの管理方法について, 適切な掃除や頻度を考え, 判断することができる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	5節 安全な住まい	a: 住まいの安全対策, 住まいにおける健康管理など, 実生活に役立てることができる。 b:安全な住まいづくりや, 快適な住環境のためにどのような課題があるのか見つけることができ, その課題解決のための方策を考えることができる。暮らしやすい住まいについて, 住空間だけでなく, 周りの環境とも関係していることをレポートなどを通して表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
	6節 持続可能な住まいづくり	a:安全で快適な住まいや, 社会環境・地域環境についての知識を身につけ, 現在の住生活の課題についても認識できる。	定期考査		
生活設計		a:精神的な自立, 経済的な自立, 生活的自立, 性的自立にむけて, 家庭総合で学んだ技術や知識を確認し, これからの人生を考え, 設計できる。	定期考査		

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	生活産業基礎（実教出版）						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

日頃から生活産業に興味をもち、新聞などさまざまな媒体を通して社会の動きや出来事について関心を持ち、正しい知識を習得してください。
また、授業プリント等は保管し、自分自身の進路実現の参考にしてください。

2 学習の到達目標

実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することをめざす。

①生活産業や関連する職業に関連する技術を身に付けるようにする。

②生活産業や関連する職業に関する課題を発見し、さまざまな視点で解決する力を養う。

③進路選択と専門性の向上をめざし自ら探究し、主体的・協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

<p>観点の趣旨</p>	<p>各職業に求められる資格や技術について理解できる。 家庭に関する科目の学習がスペシャリストとして生活産業に関する職業に結びつくことを理解できる。</p>	<p>生活産業に関する専門的な知識・技術の理解と自身の卒業後の進路について思考を深め、発表等を通じて表現することができる。</p>	<p>各分野のスペシャリストとして必要な知識と技術を習得しようとする意欲と態度を身に付けることができる。また、進路実現に向け実践できる。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 「生活産業」を学ぶ	1節 生活産業の役割	a:産業構造について知識を身につけている。 b:生活産業基礎を学ぶ意義について、自分の考えをまとめる。	定期考査	定期考査 提出プリント	
		2節 産業構造の変化				
	3節 職業人に求められるもの	a:商品・サービス開発に必要な知識としての色彩、配色の基礎を理解する。 b:商品・サービス開発に必要な知識を踏まえ、これからの時代に求められる要素を考える。 c:身近な商品・サービスに注目しながら、今後の生活に必要なことを考える。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート	
	第2章 ライフスタイルの変化に対応した商品・サービスの提供	1節 消費者ニーズの把握	a:どのような消費者ニーズがあるか理解する。	定期考査		
		2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供	b:消費者ニーズを把握し、自分自身で商品・サービスの開発をする。 c:自分で考えた商品・サービスが世の中にどういった影響を与えるか考え振り返る。		定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		3節 マネジメントサイクル・経営理念				

※令和4年度以降入学生用

		4節 商取引に関する法規	a:関係法規について知識を身につけている。	定期考査		
2 学期	第3章 食生活関連分野	1節 食品製造業	a:食生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		2節 外食産業	b:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。			
		3節 中食産業	c:食生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら食生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。			
		4節 食品流通業				
		8節 ライフスタイルの変化と食生活				
		9節 食生活の課題				
		5節 食品製造にかかわる職業と資格	a:食生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:食生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
		6節 外食産業にかかわる職業と資格				
		7節 食品流通にかかわる職業と資格				

※令和4年度以降入学生用

第4章 衣生活関係分野	1 節 アパレル素材産業	a:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて理解する。 b:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:衣生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながら衣生活の計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
	2 節 アパレル産業				
3 節 ファッション小売産業					
7 節 衣生活の変化					
8 節 衣生活の課題					
	4 節 アパレル素材産業の職業と資格	a:衣生活関連産業の職業と資格について理解する。 b:衣生活関連産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
	5 節 アパレル企画・生産にかかわる職業と資格				
	6 節 アパレルの販売にかかわる職業と資格				

※令和4年度以降入学生用

第5章 住生活関係分野	1 節 住生活にか かわるさまざまな 産業	a:住生活の変化と生活産業のかかわり について理解する。 b:住生活の変化と生活産業のかかわり について、自分と関連づけて思考・判断 し、表現できる。 c:住生活の変化と生活産業のかかわり について、現状を分析し、今後の自分の 進路実現と照らし合わせながら住生活 の計画を立て、実施し取り組みを振り返 ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
	5 節 住生活・住ま いの変化				
	6 節 住まいをめ ぐる課題				
	2 節 建築にかか わる職業と資格	a:住生活関連産業の職業と資格につい て理解する。 b:住生活関連産業の職業と資格につい て、自分と関連づけて思考・判断し、表 現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
	3 節 インテリア デザイン・リフォー ムにかかわる職業 と資格				
	4 節 その他の職 業と資格				

※令和4年度以降入学生用

3 学期	第6章 ヒューマンサービス関連分野	1 節 高齢者にか かわる産業	a:社会の変化とヒューマンサービスについて理解する。 b:社会の変化とヒューマンサービスについて、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。 c:社会の変化とヒューマンサービス住生活の変化と生活産業のかかわりについて、現状を分析し、今後の自分の進路実現と照らし合わせながらヒューマンサービスと関わる計画を立て、実施し取り組みを振り返ることができる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
		2 節 障がい者にか かわる産業				
		3 節 子どもにか かわる産業				
		8 節 現代の社会 福祉				
		9 節 ヒューマン サービス従事者に 求められる資質				
		10 節 高齢者施設 訪問実習				
		4 節 高齢者にか かわる職業	a:ヒューマンサービス関連産業の職業と資格について理解する。 b:ヒューマンサービス産業の職業と資格について、自分と関連づけて思考・判断し、表現できる。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	
		5 節 障がい者にか かわる職業				
		6 節 子どもにか かわる職業				
		7 節 ヒューマン サービスにかかわ る資格				

※令和4年度以降入学生用

第7章 なりた い自分 になる ため に	1 節 職業の選 択 と自己実現	a:職業生活と生きがいについて理解する。 b:働く意義について、社会の変化に照らし合わせながら自分の考えをまとめることができる。 c:職業を通じての自己実現に向けて、意識して実生活を送る。	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振り返りシート
	2 節 職業人に必 要な資質				
	3 節 将来の生活 と学業	c:自分自身の将来を見据え、今後の学業と進路計画について、深く考えることができる。			提出プリント 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学校番号	2002
------	------

令和6年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	保育基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	保育基礎 (実教出版)						
副教材等	保育基礎 学習ノート (実教出版)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

保育の意義や方法, 子どもの発達と生活の特徴, 子どもの福祉や文化について理解し, 関連する技術を身につけ, 保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。

2 学習の到達目標

- 保育に関わる課題について思考を深め, 課題を発見する。
- 実際に乳幼児とふれあう学習など, 実践的な学習活動を行う。
- 周りの生徒と共同しながら主体的に学び, 保育に関わる知識や技術を身につける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特徴, 生活と保育に関する知識を総合的に身につけている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ, その解決をめざして思考を深め, 適切に判断し, 工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育への関心を持ち, 意欲的に学習に取り組み, 子どもの健やかな発達や保育に寄与していることとする実践的な態度を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 子どもの保育	1節 保育の意義 1 保育とは 2 保育の意義	・ 保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 保育の方法 1 保育者の役割とは 2 一人ひとりに合わせた指導	・ 保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

		<p>3節 保育の環境</p> <p>1 家庭での保育</p> <p>2 幼児教育・保育の場</p> <p>3 子どもが育つ環境の変化と課題</p>	<p>・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。</p> <p>・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
2 学期	2 章 子どもの発達	<p>1節 子どもの発達の特性</p> <p>1 発達と保育</p> <p>2 発達の共通性と個別性</p>	<p>・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解する。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		<p>2節 子どものからだの発達</p> <p>1 発育・発達の評価</p> <p>2 身体的特徴</p> <p>3 生理的特徴</p>	<p>・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		<p>3節 子どもの心の発達</p> <p>1 社会・情緒的な発達</p> <p>2 知的発達</p> <p>3 言葉の発達</p>	<p>・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。</p> <p>・知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	3 章 子どもの生活	<p>1節 子どもの生活と養護</p> <p>1 生活と健康</p> <p>2 栄養と食事</p> <p>3 衣生活</p>	<p>・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。</p> <p>・乳幼児期の栄養や食事(乳汁栄養や離乳食、幼児食など)の特徴を実習を通して理解する。</p> <p>・子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート 調理実習レポート

※令和4年度以降入学生用

3 学期	単 元 名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		2節 生活習慣の 形成 1 子どもの生活 習慣 2 基本的生活習 慣 3 社会的生活習 慣	・ 基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシ ート
		3節 健康管理と 事故防止 1 子どもの健康 管理 2 事故の防止と 応急処置	・ 子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ・ 子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシ ート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※令和4年度以降入学生用

学校番号	2002
------	------

令和6年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	ファッション 造形基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

被服の構成、被服材料の種類や特徴を学ぶとともに、縫製に関する基礎的な技術の習得をめざす。
--

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none">・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。・被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。・衣生活の充実を目指して自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
--

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観 点 の 趣 旨	<p>・被服の構成, 被服材料の種類や特徴, 被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに, 関連する技術を身に付けるようにする。</p>	<p>・被服製作やデザインに関する課題を発見し, ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p>	<p>・衣生活の充実を目指して自ら学び, ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 学習の活動

学	単 元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法
---	--------	------	-------------	------

※令和4年度以降入学生用

				知(a)	思(b)	主(c)
1 学 期	第 1 章 衣 服 の 構 成	1 節 人体と衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服に求められる着心地のよさを理解する。 ・衣服の2つの形状(平面構成衣服・立体構成衣服)や, 既製衣料サイズ表示を学ぶ。 ・体形の特徴や動作によって適した衣服があることを学ぶ。 ・年齢や着脱によって生じる様々な変化や影響を理解し, 適応する衣服をつくることができるようにする。 	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2 節 立体構成衣服と平 面構成衣服	<ul style="list-style-type: none"> ・立体構成衣服と平面構成衣服, それぞれの形状の違いを学び, 衣服を構成する要素の理解を深める。 	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	第 3 章 洋 服 の 制 作	1 節 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・手縫いの基礎(並縫い・本返し縫い・まつり縫い・ボタン付け)を学ぶ ・クロスステッチで刺繍を学ぶ。 ・ミシン縫いの基礎を学ぶ。 	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2 節 甚平(下衣)の 製作	<ul style="list-style-type: none"> ・裁断, 縫製に関する基礎的な事項を理解し, 技法を習得する。 	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	第3章 洋服の制作	2節 甚平（下衣）の 製作（継続）	<ul style="list-style-type: none"> ・裁断，縫製に関する基礎的な事項を理解し，技法を習得する。（継続） 	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
	第2章 衣服の素材	1節 衣服素材の種類	<ul style="list-style-type: none"> ・繊維や繊維から成る糸や布の種類と特徴について理解する。 ・環境に配慮した新しい衣服素材や取り組みに関心をもつ。 	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2節 衣服素材の性能と 選択	<ul style="list-style-type: none"> ・保温性，通気性，吸湿性・吸水性，透湿性・防水性など，さまざまな衣服材料の性能を理解する。 ・デザインや着用目的など，用途に合わせた衣服材料を適切に選択し，取り扱いできる力をつける。 	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	第 4 章 和 服 の 製 作	1 節 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史の中での和服や、こんにちでの位置づけを理解し、伝統的な和服の意義についての理解をふかめる。 ・和服地である反物や、その長さの単位（着尺地），その他の名称など和服独自の伝統的な用語を学ぶ。 ・和服の礼装と略礼装について理解する。 ・礼装としての和服や帯の種類を理解する。 ・縫製に関する用具や基礎的な事項を理解し、技法を習得する。 	定期考査	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		2 節 甚平（上衣）の製作	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、長着などの製作をする。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 	定期考査 実習作品	定期考査 提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

3 学 期	第 4 章 和 服 の 製 作	2 節 甚平（上衣）の製作 （継続）	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、長着などの製作をする。 ・作品に応じた適切な仕上げができる。 ・和服の製作を通して平面構成衣服についての理解を深め、基本的な知識・技術を習得する。 	実習作品	提出プリント	提出プリント 振り返りシート
		3 節 着 装	<ul style="list-style-type: none"> ・甚平のような簡単に着付けのできる和服を通して着装の手順を学ぶ。 ・現代生活の中で慣習にとらわれず和装に親しみを持てるようにする。 		提出プリント	提出プリント 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※令和4年度以降入学生用

学校番号	2002
------	------

令和6年度 家庭科

教科	(専)家庭	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	フードデザイン (実教出版)						
副教材等	フードデザイン学習ノート (実教出版)。家庭科55 デジタル+ (教育図書)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

現代の食生活について、広い視野で理解ができるようにする。授業形態を主体的に取り組めるものとする。実習など体験的学習を通して技術の向上と理解を深める。

2 学習の到達目標

- ・栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- ・食生活の現状から食生活全般に関する課題を発見し、食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- ・食生活の充実向上を目指して自ら学び、食生活の総合的なデザインとの食育の推進に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
----	---------	------------	-----------------

※令和4年度以降入学生用

観点の趣旨	栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなど、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得している。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決できる。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践することができる。また、習得した知識や技術を家庭や地域で積極的に活用することにより、食育の推進に他と協働して取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	1章 食生活と健康	1節 食事の意義と役割 1項 からだをつくる食事 2項 食生活を豊かにする食事 2節 食をとりまく現状 1項 栄養摂取の変化と現状 2項 生活習慣病と欠食 3項 ライフスタイルの変化 4項 食料自給率と食品ロス 5項 食品の安全性と環境の変化	a.食事は、栄養を供給し、生命の維持や健康の保持増進を図ると同時に、精神的な役割や文化的な役割を果たしていることが理解できる。 日本の食生活の現状について、問題点が理解できる。 現代の食生活の現状について、情報を収集・整理し、考えをまとめることができる。 グループ討議の結果をまとめ、パワーポイントなどでプレゼンすることができる。 b.心身ともに健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深め、自分の食生活の現状を判断することができる。さらに、レポートを通して発表することができる。 c.自分自身の食生活や日本の食生活の現状に関心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。	定期考査	定期考査 提出ノート 実習 発表	提出ノート 実習 発表 振り返りシート
	4章 調理の基本	1節 調理とおいしさ 1項 調理の目的 2項 食べ物のおいしさ 2節 調理操作 1項 非加熱操作 2項 加熱操作 3項 加熱調理器具 3節 調味操作 1項 調味の目的 2項 調味をする段階	a.調理の目的とおいしさにかかわる要因について理解している。 主な加熱操作と非加熱操作について、食品の調理性や栄養的特徴などがかかわらせて理解できる。 日常食、行事食、供応食などの調理に必要な調理技術の基礎を身につけることができる。 b.食物のおいしさは、味・におい・色・テクスチャー・温度などに関わっており、調味、加熱やその他の調理操作が料理のできあがりに与える影響について思考を深めることができる。 調味、加熱やその他の調理操作が、料理のできあがりに大きく影響することを実験を通して観察し、考察することができる。 c.調理の目的について、安全性、栄養、嗜好、心身の健康などの面から関心を持ち、学ぼうとする意欲が感じられる。	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	2 章 栄 養 素 の は た ら き と 食 事 計 画	<p>1節 栄養素のはたらき</p> <p>1項 食物の摂取と栄養</p> <p>2項 炭水化物</p> <p>3項 脂質</p> <p>4項 たんぱく質</p> <p>5項 ミネラル</p> <p>6項 ビタミン</p> <p>7項 その他の食品成分</p> <p>8項 エネルギー</p> <p>2節 ライフステージと栄養</p> <p>1項 乳幼児期の栄養</p> <p>2項 青少年期の栄養</p> <p>3項 成人期の栄養</p> <p>4項 高齢期の栄養</p> <p>3節 食事摂取基準と食事計画</p> <p>1項 日本人の食事摂取基準</p> <p>2項 食事計画</p>	<p>a. 炭水化物, 脂質, たんぱく質, ビタミン, ミネラルなどの種類とはたらきについての知識を習得することができる。消化・吸収について理解している。</p> <p>食品ごとのアミノ酸スコアを計算することができる。機能性成分にはどのような効果があり, どのような食品に含まれているか理解できる。</p> <p>1日に必要なエネルギー量を求めることができる。</p> <p>乳幼児期から高齢期までの各ライフステージごとの栄養の特徴, 食生活上の留意事項について理解できる。</p> <p>エネルギーや各栄養素の食事摂取基準について理解できる。</p> <p>b. からだの中でそれぞれの栄養素がどのようなはたらきをしているのかを考えることができる。</p> <p>各ライフステージに応じた望ましい食生活を判断することができる。</p> <p>実際の栄養摂取量と「日本人の食事摂取基準」や「食品群別摂取量のめやす」から、適切な食事計画について考えることができる。</p> <p>c.炭水化物, 脂質, たんぱく質, ビタミン, ミネラルなどの種類とはたらき, 栄養素の消化のしくみに興味を持つようとしている。</p> <p>機能性成分にはどのようなものがあるか知ろうとしている。</p> <p>食生活の現状とも関わらせながら, 「日本人の食事摂取基準」や「食品群別摂取量のめやす」などを活用し, ライフステージに応じた食事計画にいかそうとしている。</p>	定期 考 査	定期 考 査 提 出 プ リ ン ト 実 習 発 表	提 出 プ リ ン ト 実 習 発 表 振 り 返 り フ ォ ー ム
-------------	---	---	---	--------------	--	--

※令和4年度以降入学生用

2 学 期	3 章 食 品 の 特 徴 ・ 表 示 ・ 安 全	<p>1節 食品の特徴と性質</p> <p>1項 穀類</p> <p>2項 いも類</p> <p>3項 砂糖</p> <p>4項 豆類</p> <p>5項 種実類</p> <p>6項 野菜類</p> <p>7項 くだもの類</p> <p>8項 きのこと類</p> <p>9項 海藻類</p> <p>10項 魚介類</p> <p>11項 肉類</p> <p>12項 卵類</p> <p>13項 牛乳・乳製品</p> <p>14項 油脂類</p> <p>15項 かんてん・ゼラチン</p> <p>16項 し好食品</p> <p>17項 調味料・香辛料</p> <p>18項 加工食品と加工方法</p> <p>19項 特別用途食品と保健機能食品</p> <p>2節 食品の生産と流通</p> <p>1項 第一次産業の現状</p> <p>2項 食品の生産</p> <p>3項 食品の流通</p> <p>3節 食品の選択と表示</p> <p>1項 多様化の背景と現状</p> <p>2項 食品の選択</p> <p>3項 食品の表示</p> <p>4節 食品の衛生と安全</p> <p>1項 食中毒</p> <p>2項 台所の衛生</p>	<p>a.食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を習得することができる。</p> <p>調理を前提として、よりよい食品を見きわめ、購入することができる。</p> <p>食品を衛生的に取り扱うことができる。</p> <p>食品の生産・流通・加工などの現状が理解できる。</p> <p>食品の衛生と安全に関する基本的な知識を身につけている。</p> <p>b.食品の特性を図表などから科学的に考察できる。</p> <p>食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化を実験を通して観察し、考察することができる。</p> <p>輸入食品や様々な加工食品など多種多様な食品の中から、目的に応じて適切な選択ができる。</p> <p>食品について安全や衛生に配慮した適切な判断ができる。</p> <p>食品の生産・流通・加工などの現状における課題について考えをまとめ、レポートを通して発表することができる。</p> <p>c.食品の特徴や、調理操作によって変化する食品の成分に関心を持つようとしている。</p> <p>食品の生産・流通・加工などの現状に関心を持つようとしている。</p> <p>食品の表示・衛生に関心を持つようとしている。</p>	定期 考 査	定期 考 査 提 出 プ リ ン ト 実 習 発 表	提出 プ リ ン ト 実 習 発 表 振 り 返 り シ ー ト
-------------	---	---	--	--------------	--	---

※令和4年度以降入学生用

		3項 食品添加物				
3 学 期	5 章 料 理 様 式 と テ ー ブ ル コ ー デ ィ ネ ー ト	<p>1節 料理様式と献立</p> <p>1項 日本料理の様式と献立</p> <p>2項 西洋料理の様式と献立</p> <p>3項 中国料理の様式と献立</p> <p>2節 テーブルコーディネート</p> <p>1項 テーブルコーディネートとは</p> <p>2項 テーブルコーディネートの基本</p> <p>3項 和風のテーブルコーディネート</p> <p>4項 洋風のテーブルコーディネート</p> <p>5項 中国風のテーブルコーディネート</p> <p>6項 室内のコーディネート</p>	<p>a.様式別の食卓構成や食卓作法, 供応に伴うマナーを身につけることができる。</p> <p>食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて適切な取り扱いができる。</p> <p>目的に応じたテーブルコーディネートができる。</p> <p>b.食器・盛りつけ・テーブルクロス・照明などについて, 目的に応じた適切な選択ができる。</p> <p>c.日本料理, 西洋料理, 中国料理など代表的な料理様式について, それぞれの特徴に関心を持つとしている。</p> <p>季節や行事, 食事の目的などに応じて食卓を演出しようとする意欲・関心を感じられる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート
	7 章 食 育	<p>1節 食育の意義と推進活動</p> <p>1項 食育の意義と課題</p> <p>2項 食育推進活動例</p>	<p>a.食育活動について情報を収集・整理し, 考えをまとめることができる。</p> <p>食育基本法の理念を知り, 食育に関するさまざまな活動が行われていることを理解できる。</p> <p>b.食についての課題を見だし, その解決を目指した食育活動について思考を深めることができる。</p> <p>c. 食育の意義と活動に関心を持つとしている。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント 実習 発表	提出プリント 実習 発表 振り返りシート

※令和4年度以降入学生用

各学期	6章 フードデザイン実習	<p>1節 献立作成</p> <p>1項 日常食の献立の作成条件</p> <p>2項 日常食の献立作成の手順</p> <p>3項 供応食・行事食</p> <p>4項 テーマ設定と調理実習</p>	<p>a.食事のテーマに応じた献立作成, 食品材料の選択と調理, テーブルコーディネートと料理のサービス方法など, 一連の流れを計画し実践ができる。</p> <p>具体的な食事テーマの設定, 目的に応じた献立作成, 献立に適した食品の選択, 食品の調理性を踏まえた適切な調理について, 理解できる。</p> <p>日本料理, 西洋料理及び中国料理の基本的なテーブルセッティング, テーマにふさわしいテーブルコーディネート及びサービスの方法を理解できる。</p> <p>b.具体的な食事テーマを設定し, その目的に応じた献立を考えることができる。</p> <p>作成した献立に適した食品を選択する事ができる。</p> <p>食事のテーマにふさわしい食卓の整え方や周囲の環境を判断することができる。</p> <p>c.食事のテーマにふさわしい献立や食卓の整え方, 周囲の環境づくりを行おうとする意欲・関心が感じられる。</p>	定期考査	定期考査 提出プリント 発表	提出プリント 発表 振り返りシート
-----	-----------------	---	---	------	----------------------	-------------------------

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度